

従業者証明書様式例

<p>従業者証明書</p> <p>証明書番号 <u>190401</u></p> <p>従業者氏名 <u>近江 太郎</u> (H〇〇年 〇月 〇日生)</p> <p>業務に従事する事務所 の名称 <u>本店</u> 及び所在地 <u>滋賀県大津市京町四丁目1番1号</u></p> <p>この者は、宅地建物取引業者の従業者であることを証明します。</p> <p>証明書有効期間 R3年 9月 2日から R8年 9月 1日まで</p> <p>(R3年 8月撮影) 免許証番号 滋賀県知事(2)第12345号</p> <p>商号又は名称 <u>かいつぶり不動産株式会社</u></p> <p>主たる事務所の所在地 <u>滋賀県大津市京町四丁目1番1号</u></p> <p>代表者氏名 <u>近江 太郎</u></p>	<p>備考 (内容に変更があった時、変更日時、内容を記入すること)</p> <p>R3.10.1 会社名 <u>かいつぶり不動産(株)</u> から <u>にお不動産(株)</u> に変更 代表者 <u>近江 太郎</u> から <u>近江 京子</u> に変更</p> <p>R3.12.1 <u>本店</u> から <u>草津支店</u> に異動</p> <p>宅地建物取引業法抜粋 第48条 宅地建物取引業者は、国土交通省令の定めるところにより、従業者に、その従業者であることを証する証明書を携帯させなければ、その者をその業務に従事させてはならない。 2 従業者は、取引の関係者の請求があったときは、前項の証明書を提示しなければならない。</p>
--	--

<p>従業者証明書</p> <p>証明書番号 _____</p> <p>従業者氏名 _____ (_____年 _____月 _____日生)</p> <p>業務に従事する事務所 の名称 _____ 及び所在地 _____</p> <p>この者は、宅地建物取引業者の従業者であることを証明します。</p> <p>証明書有効期間 _____年 _____月 _____日から _____年 _____月 _____日まで</p> <p>(_____年 _____月撮影) 免許証番号 _____</p> <p>商号又は名称 _____</p> <p>主たる事務所の所在地 _____</p> <p>代表者氏名 _____</p>	<p>備考 (内容に変更があった時、変更日時、内容を記入すること)</p> <p>宅地建物取引業法抜粋 第48条 宅地建物取引業者は、国土交通省令の定めるところにより、従業者に、その従業者であることを証する証明書を携帯させなければ、その者をその業務に従事させてはならない。 2 従業者は、取引の関係者の請求があったときは、前項の証明書を提示しなければならない。</p>
--	--

<p>従業者証明書</p> <p>証明書番号 _____</p> <p>従業者氏名 _____ (_____年 _____月 _____日生)</p> <p>業務に従事する事務所 の名称 _____ 及び所在地 _____</p> <p>この者は、宅地建物取引業者の従業者であることを証明します。</p> <p>証明書有効期間 _____年 _____月 _____日から _____年 _____月 _____日まで</p> <p>(_____年 _____月撮影) 免許証番号 滋賀県知事()第 _____号</p> <p>商号又は名称 _____</p> <p>主たる事務所の所在地 _____</p> <p>代表者氏名 _____</p>	<p>備考 (内容に変更があった時、変更日時、内容を記入すること)</p> <p>宅地建物取引業法抜粋 第48条 宅地建物取引業者は、国土交通省令の定めるところにより、従業者に、その従業者であることを証する証明書を携帯させなければ、その者をその業務に従事させてはならない。 2 従業者は、取引の関係者の請求があったときは、前項の証明書を提示しなければならない。</p>
---	--

<p>従業者証明書</p> <p>証明書番号 _____</p> <p>従業者氏名 <u>近江[大津] 太郎</u> (_____年 _____月 _____日生)</p> <p>業務に従事する事務所 の名称 _____ 及び所在地 _____</p> <p>この者は、宅地建物取引業者の従業者であることを証明します。</p> <p>証明書有効期間 _____年 _____月 _____日から _____年 _____月 _____日まで</p> <p>(_____年 _____月撮影) 免許証番号 滋賀県知事()第 _____号</p> <p>商号又は名称 _____</p> <p>主たる事務所の所在地 _____</p> <p>代表者氏名 _____</p>	<p>備考 (内容に変更があった時、変更日時、内容を記入すること)</p> <p>氏名欄の括弧内は旧姓</p> <p>宅地建物取引業法抜粋 第48条 宅地建物取引業者は、国土交通省令の定めるところにより、従業者に、その従業者であることを証する証明書を携帯させなければ、その者をその業務に従事させてはならない。 2 従業者は、取引の関係者の請求があったときは、前項の証明書を提示しなければならない。</p>
--	--

業免許証の期間。
新規採用の場合、始期は
採用日になる。

届出時に、滋賀県住宅課
受付印の押印

従業者証明書番号の付番について
第1・2桁は、雇用された年の西暦年の下2桁
第3・4桁は、雇用された月(例:4月→"04")
第5桁以下は、通し番号(重複がないように)

紙で作成される場合は、県住宅課で
受付印を押印するまでラミネートをお控えください。

旧姓併記の例
・新姓の後に旧姓を[]で囲って記載
・備考欄に「氏名欄の括弧内は旧姓」と記載

- ※この様式例をご利用の場合は、必要事項を記入のうえ、厚紙等でコピーし、中心で折り曲げてください。
- ・ 証明書番号 → 免許申請書の添付書類「宅地建物取引業に従事する者の名簿」及び、事務所ごとに備え付け義務のある従業者名簿に記載の番号をご記入ください。
 - ・ 証明書有効期間 → 途中から入社した場合は入社したときから、免許の有効期限までになります。
 - ・ 免許証番号 → 国土交通大臣免許の場合は、「滋賀県知事」を「国土交通大臣」に書き換えてご利用ください。